

流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成17年9月30日条例第31号）

最終改正:令和3年3月29日条例第11号

改正内容:令和3年3月29日条例第11号 [令和3年6月1日]

○流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

平成17年9月30日条例第31号

改正

平成24年10月15日条例第24号
平成25年12月20日条例第42号
令和元年7月19日条例第3号
令和3年3月29日条例第11号

流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第1項の規定により、流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 市は、市民の生涯学習の推進、生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、流山市生涯学習センター(以下「センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第3条 施設の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
流山市生涯学習センター	流山市中110番地

(事業)

第4条 センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習に係る情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習に係る場所の提供に関すること。
- (3) 生涯学習に係る講座、講演会等の実施に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、センターの設置目的を達成するために必要な事業

(指定管理者による管理)

第5条 市は、センターの設置目的を効果的に達成するため、法人その他の団体であって市が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にセンターの管理を行わせるものとする。

2 前項の規定による指定管理者の指定手続等については、流山市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年流山市条例第27号)の定めるところによる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) センターの施設及び附属設備(以下「施設等」という。)の維持管理に関すること。
- (2) 第4条に規定する事業の実施に関すること。
- (3) 第9条に規定する使用の許可に関すること。
- (4) 第10条に規定する使用の制限に関すること。
- (5) 第11条に規定する使用の許可の取消し等に関すること。
- (6) 第14条に規定する模様替え等の許可に関すること。
- (7) 第17条から第19条までに規定する利用料金の収受、減免及び還付に関すること。

(使用時間)

第7条 センターの使用時間は、午前9時から午後9時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、流山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第8条 センターの休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、臨時に休館し、又は休館日を変更することができる。

(1) 每月第3水曜日

(2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日にに関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日を休館日とする。

(使用の許可)

第9条 施設等を使用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 前項の許可には、施設等の管理上必要な条件を付することができる。

(使用の制限)

第10条 指定管理者は、施設等を使用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その使用を許可しないものとする。

- (1) その使用が、公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) センターの設置の目的に反すると認められるとき。
- (3) 施設等及び展示資料を損傷するおそれがあるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

(使用の許可の取消し等)

第11条 指定管理者は、第9条第1項の規定による使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)の使用が次の各号のいずれかに該当するときは、その許可を取り消し、又はその使用の全部若しくは一部を禁止することができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第9条第2項の規定による使用の許可の条件に違反したとき。
- (3) 虚偽の申請その他不正の手段により使用の許可を受けた事実が明らかとなったとき。
- (4) 前各号に定めるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

(使用期間)

第12条 センターは、同一使用者が同一施設を引き続き3日以上使用することはできない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(目的外使用及び権利譲渡等の禁止)

第13条 使用者は、許可を受けた目的以外に施設等を使用し、又はその権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(模様替え等)

第14条 使用者が、施設等の使用に際しこれを模様替えし、又は新たな設備を附加しようとするときは、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

(原状回復義務)

第15条 使用者は、施設等の使用を終了したとき(第11条の規定により、施設等の使用の許可の取消し又は禁止があつたときを含む。)は、直ちに施設等を原状に回復しなければならない。ただし、指定管理者が認めたときは、この限りでない。

(損害賠償)

第16条 使用者は、故意又は過失により、施設等を損傷し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(利用料金)

第17条 施設等の使用者は、当該使用に係る料金(以下「利用料金」という。)を指定管理者に支払わなければならぬ。

2 利用料金の額は、別表に定める額(同表に定めるところにより算出した額の合計額に10円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額)の範囲内で、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める。

3 市長は、利用料金を指定管理者の収入として収受させるものとする。

(利用料金の減免)

第18条 指定管理者は、規則に定める基準に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第19条 既納の利用料金は還付しない。ただし、指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときには、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 天災地変その他使用者の責めによらない事由により使用できなかつたとき。
- (2) 公用又は公用その他のやむを得ない事由により使用の許可を取り消し、又は使用を中止させたとき。
- (3) 施設等の使用者が使用期日の7日前までに使用の許可の取消しを申し出たとき。

(販売行為等の禁止)

第20条 施設等及びセンターの敷地内において物品の販売その他これに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けて行う場合は、この限りでない。

(委任)

第21条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年10月15日条例第24号)

この条例は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第7条の改正規定及び別表のうち1 施設利用料金の表の改正規定(芝生広場の項を削る部分に限る。)は、平成24年11月1日から施行する。

附 則(平成25年12月20日条例第42号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正に係る経過措置)

21 この条例による改正後の流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例第17条第2項及び別表の規定は、施行日以後の施設等の使用に係る同日以後に納付される利用料金について適用し、同日前の施設等の使用に係る利用料金及び同日以後の施設等の使用に係る同日前に納付される利用料金については、なお従前の例による。

附 則(令和元年7月19日条例第3号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

(流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正に係る経過措置)

- 39 この条例による改正後の流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例(次項において「改正後の条例」という。)別表の規定は、施行日以後の施設等の使用に係る利用料金について適用し、同日前の施設等の使用に係る利用料金については、なお従前の例による。
- 40 施行日以後の施設等の使用に係る納入の通知のうち、公布日から施行日の前までの間に行われたものは、施行日以後に行われたものとみなし、当該納入の通知に係る利用料金は、改正後の条例に規定する利用料金とするものとする。この場合において、当該納入の通知による納入が、公布日から施行日の前までの間に行われたときは、当該納入は、施行日から施設等の使用の日前までの間に行われたものとみなす。

附 則(令和3年3月29日条例第11号)

(施行期日)

- 1 この条例は、令和3年6月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
(準備行為)
- 2 この条例による改正後の流山市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例に基づくプロジェクト及びワイヤレスアンプセットの利用について必要な予約等の準備行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

編集コントロール装置	1式	1回	103円
特殊効果装置	1式	1回	103円
ベース・キーバック・スポットライト	1台	1回	103円
ダブルカセットデッキ	1台	1回	103円
SVHSダビング装置	1式	1回	103円
フィル・トップライト	1台	1回	103円

(3) 音楽室

品名	単位	区分	利用料金
アップライトピアノ	1台	1回	313円
エレクトーン	1台	1回	313円
ジャズドラム	1セット	1回	313円
ティンパニー	1式	1回	313円
ギター	1台	1回	313円
譜面台	1台	1回	103円
ステレオ	1台	1回	103円
ギターアンプ	1台	1回	103円
指揮台	1台	1回	208円
指揮者用譜面台	1台	1回	208円

(4) 共通

品名	単位	区分	利用料金
プロジェクター	1台	1回	220円
ワイヤレスアンプセット	1台	1回	110円

備考

- 1 附属設備の利用の回数は、施設利用料金の表に規定する多目的ホール、体育館、演習室等の施設ごとの1の利用時間の区分での利用を1回とし、第1ギャラリー、第2ギャラリー又は小ギャラリーにおいては、演習室から美術室までの1の利用時間の区分での利用を1回とする。ただし、多目的ホール及び体育館における終日の区分は3回とする。
- 2 利用料金については、この表に定めるもののほか施設利用料金の表の備考の1から4までの規定を準用する。
- 3 ピアノ調律料は、別に実費を徴収する。

3 駐車場利用料金

区分	単位	金額
マイクロバス(乗車定員11人以上 30人未満)	1台1回	550円
上記以外の車両	1時間を超え、1時間ごと1台につき	103円 (駐車場利用料金の合計は、1日1回につき515円を限度とする。)

備考

- 1 軽車両及び総排気量50cc以下の原動機付自転車は、無料とする。
- 2 この表に定めるところにより算出した額の合計額に10円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額とする。